

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 巧文



### ■ 細迫兼光さんという人物

ほとんどの方がご存じだと思いますが、細迫兼光さんは地元厚狭の生んだ政治家です。明治29年生まれ、昭和47年永眠(享年76歳)。戦前・戦後、主に中央政界で活躍。昭和17年から4年弱、小野田市長に就任。昭和21年、戦後初の総選挙で再び衆議院議員に当選(戦後だけで5回当選)。

細迫さんのお孫さんが高知市で出版社を経営されていて、この度、細迫さんの伝記を出すにあたり、現市長の私にも何か書き添えることがあればと、見本製本を1冊送ってくれました。見本製本とはいえ、戦前の治安維持法が猛威をふるった暗黒の時代、戦後の混乱期から平和な時代までを生き抜いた細迫さんの伝記はほぼ完成していて、私が何かを書き加える余地などなさそうです。

細迫さんが小野田市長に就任した昭和17年、その年の8月27日に小野田を襲った未曾有の大水害。小野田の大半は海と化し、死者百数十名という大惨事でしたが、細迫市長の活躍は目覚ましく、その光景は多くの市民の心に焼き付いたそうです。

見本製本の本文中、何度も名前が出てくる細迫さんの甥の細迫兵馬さんは、いつも私に「兼光伯父は弱音を吐いたことはありません」と励ましてくれています。

また、細迫さんは、趣味などたくさんのこと

に関心と能力のある方だったようです。厚狭の駅前に建つ寢太郎像の台座に刻んである詩は、実は細迫さんの作。山陽小野田市シルバー人材センター前の「風水害救援感謝碑」も細迫さんの筆によるものとか。囲碁が好きで、強かったそうです。

細迫さんと私との共通点は、職業が弁護士であることと、小野田(山陽小野田)市長就任の2点だけかもしれませんが、見本製本を一読し、細迫さんの人生には敬意とともに親近感を覚えるのです。

### ■ フェイスブックを始めました

本市では、6月からフェイスブックを始めました。災害情報や緊急連絡も、市役所から際限のない広がりを持って、瞬時に配信できます。

ポケットの中の小さなコンピュータ(スマートフォン等)でも利用できるからでしょうか、即座の反響も大きく、本市の情報や魅力をタイムリーに発信できる頼もしい存在になりそうです。ちなみに職員のほとんどがスマートフォンを携帯していますが、市民のみなさんもいかがですか。決して操作の難しい代物ではありませんよ。

“山陽小野田市フェイスブック”  
<https://www.facebook.com/sanyoonoda>